

---

## 2 階のベランダ

potsurika

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

2階のベランダ

### 【Nコード】

N67830

### 【作者名】

p o t s u r i k a

### 【あらすじ】

——もういい、もう何も嫌だ。

些細なことで躓いて自暴自棄になり、飛び降り自殺を図る山本里奈。そんな彼女の目に映ったのは、空を歩く一匹の黒猫だった。

メロウでほんの少し切ない物語。

r a i n

しょう来の夢

2年3組 山本りな

わたしはしょう来、ヒーローになりたいです。

ヒーローになったら、パパとママとお兄ちゃんと  
さおりちゃんとりこちゃんとしてたくんをわるい  
人から守ってあげます。

もう一つの夢は、しょうたくんのおよめさんになる  
ことです。でもしょうたくんはまいちゃんのが  
すきって言うてました。でもしょうたくんはおよめ  
さんにしてくれるってゆびきりをしてくれました。  
ウエディングドレスは、ぴんくです。きれいです。  
ママは白がいいっていうけど、ぴんく色のほうが、  
女の子だからいいです。

はやくおとなになりたいです。

## fall down

もう嫌だ。何もかも、もう嫌になった。

・・・これで冷たい雨が降っていて、凍えるような寒い夜なら、私のこのワンシーンはドラマの一場面（しかもなかなか重要なシーン）で活用されてもおかしくはないだろう。

私は今、自宅のアパートのベランダから飛び降りようとしている。勿論、死ぬために。

残念ながらもう日は昇っていて、朝露に光が反射してキラキラと景色を彩っている。とても自殺の現場には似合わない。（後々冷静に考えてみると、私の部屋は2階で、飛び降り自殺をするにはあまり適していなかった。不覚。）

低すぎる私の死に場所から、精一杯背伸びして街を見渡す。山手を無理矢理開発して造られた、いわゆるニュータウンのこの街は、特に目立った高層ビルなんてものは無く、全てが静かに佇んでいる。地元から遠く離れた大学に通うために1年半ほど前にここに引越してきて以来、私はここから街を眺めるのが好きだった。街全体が山手の斜面に造られていて、私の借りているアパートはその最上部にあたるので、2階からでもいい眺めが望めるのだ。

このニュータウンのコンセプトが「緑あるまち」ということもあり、今の季節はあちこちに紅葉で赤や黄色に染まった木々も見えて、素人の油絵にでもありそうな風景なのである。・・・静かすぎて、本当に絵みたいだ。

左手首につけているお気に入りの腕時計は、午前5時を示している。もう暫くすれば、少しずつ街は動き出すだろう。

ふと涙が零れた。そうだ、この時計も外さなければ。

できれば、死ぬ瞬間は誰にも見られたくないな。最後の最後に、なぜ恥を晒さなければならぬのよ。死体になってしまえば、傷口を弄られよう

が写真を撮られようがどうでもいい。だって死体ということは、私の精神はその体とは別物になっているんだし。

べつに、死んだら天国や地獄に行く、というのを信じているわけではない。失礼かもしれないが、思考を持たなくなった時点で死体はものになると思っている。自分自身に対してもそう。だからきちんと死ぬまで誰にも見られたくない。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6783o/>

---

2 階のベランダ

2010年11月3日03時55分発行